



2006. July 7月号

発行日：平成18年7月1日

発行：東京税理士会
情報システム委員会

題字：金井塚 清 (豊島)

電子税務調査と標準監査ファイルの国際的動向

—電子商取引、電子帳簿の普及への対応（後編）

パソコンが行き渡り、携帯電話も肌身離さない世の中になりました。いろいろ便利にはなりましたが、「まだ本質的にどうだろうか?」という感じは拭えません。私たちの税理士業務の中で、異なる会計システム間でのデータの連携はどうでしょうか。目下のところは互換性がないためにデータを共有するという事は容易ではありません。そのために過年度のデータを維持することを考えるとより良いシステムがあっても乗り換えることは非常に困難です。こうした不便な状況を克服する方策として「税務用標準監査ファイル」が有効ではないかというのが前編（先月号）でのお話でした。後編ではこの標準監査ファイルを実際に稼働させるための課題を探るとともに税理士及び税理士会がどう関わるかについて議論を深めます。後編も前編に引き続き公認会計士の池田氏より原稿をご提供いただきました。

「標準監査ファイル」を実現する2つの仕様

OECDでは、「標準監査ファイル」を実現する仕様として、XMLとXBRL (GL)の二つを挙げています。XMLは、国税電子申告(e-TAX)において、確定申告書本体や勘定内訳明細書を電子化する際に用いられるコンピュータ言語。XBRLはXMLをより高度にしたものであり、同じくe-TAXにおいて貸借対照表や損益計算書、利益金処分表を電子化する際に用いられているものです。このうち、将来の導入が国際的に期待されているのがXBRL (GL)です。XBRL (GL)は、決算書等を電子化するのに適したXBRLを、帳簿・仕訳伝票や明細データを表現するのに適するようにしたものです。「GL」とはGeneral Ledger (総勘定元帳)の略ですが、総勘定元帳だけを表現できるわけではありません。XBRL (GL)は「国際標準」になることを前提に考えられており、世界各国の制度や商慣習の違いなどに柔軟に対応することができます。すでに、XBRL (GL)形式で総勘定元帳データを出力できる会計ソフトウェアも登場しています。

「電子税務調査」実現への課題

「標準監査ファイル」を用いた「電子税務調査」実現には、解決しなければならない多くの課題があります。このうち、主として納税者及び顧問税理士に関係する項目を洗い出してみます。

1. 納税者に「標準監査ファイル」を提出するメリットをどのように理解してもらうか

標準監査ファイルを出力するためには、新たなソフトウェア購入のコストを負担しなければなりません。納税者としては、コストに見合ったメリットがなければ提出要請に応じないかもしれません。例えば、標準監査ファイル提出すれば、税務調査が簡略化される又は省略されるとか、優良法人として表彰されるとか、さらに税額控除、所得控除などが受けられるとか、そういう具体的なメリットなりインセンティブを税務当局が納税者にどのように付与していくかを考えていくことが重要です。また、標準監査ファイルの法的位置づけ、とりわけ電子帳簿保存法非適用会社における意義も明確になっていることが、対応する納税者や税理士にとっても望ましいことでしょう。

2. 納税者の不安の解消

電子化された会計データを税務調査官に渡すことに対しては、納税者側が不安を持つとも言われています。

- ・標準監査ファイルを提出することで税務調査官の分析能力が高まることなどによって、細かいところまで見られるなどかえって税務調査が厳しくなると不利な扱いを受けるのではないかと

- ・大事な顧客情報等のデータが外部に漏洩しないか（税務当局側でのセキュリティは万全か）

税務調査の運用のあり方を含め、このような不安をいかにして解消することも大きなテーマです。

3. 会計データの保存・監査ファイルの出力

電子帳簿保存法非適用会社においては、会計データが必ずしも電子データで残っているとは限りません。また、納税者側にはなく、税理士事務所がデータを保管している場合もあります。税務調査官の求めに応じ、監査ファイルを出力できるよう会計データを適切に保存しておく必要があります。また、場合によっては、税理士事務所保管しているデータから標準監査ファイルを生成するといった対応も必要になるでしょう。海外の事例を見ると、将来的には、電子帳簿保存法でいうところの「電子取引の電子取引情報」についても電子税務調査の対象になることが考えられますが、中小企業における電子取引情報の保存状況の改善も望まれます。

また、社内管理用の勘定科目から税務調査用の勘定科目（例えば、電子申告で用いる税務用財務諸表タクソノミーに定義された勘定科目）への組替作業も必要になります。

4. ITのより一層の利用及びITスキルの向上

納税者、顧問税理士の双方にとって、IT化への対応が大きな課題となります。IT化の度合いによって標準監査ファイルの対象も変わってきます。

特に、販売管理、仕入管理など業務管理については、パッケージソフトの利用が必ずしも進んでいないことや、顧問税理士が販売管理システムなどから生成されるサマリー情報を入手し会計システムに入力することとなり、個々の取引の処理の妥当性についてはチェックしていないようなケースが少なくないことから、取引レベルでの標準監査ファイルの利用には限界があると思われます。

5. 適正な帳簿記帳

いうまでもなく、会計事実と公正なる会計慣行に基づき、適時に適切な会計処理・帳簿記帳がなされていることが、標準監査ファイル導入の前提となります。標準監査ファイルが導入される際には、法人税法等における青色申告要件や消費税法における帳簿等の記載要件に定められた項目をデータ項目として定義することになります。これによって、帳簿記載の法令への準拠性が明らかになるため、法令に準拠した適正な記帳が促進される効果も期待されています。

また、手書で会計帳簿が作成されていた時代には当たり前のこととして行われていた仕訳等の加除訂正履歴の保存について、コンピュータを使って記帳し、紙で帳簿を保存する場合には加除訂正履歴が必要なく、電子保存する場合のみ加除訂正履歴が必要であるといった意識が中小企業の間に広く浸透しているようですが、保存形式が紙か電子かに関わらず、企業が自ら不正を防止又は発見是正するという観点から加除訂正履歴の問題が見直されてくる可能性があります。

6. 関係者間の緊密な連携

標準監査ファイルは、電子申告などと異なり、税務当局が仕様を決めて、一方的に納税者や税理士、さらに会計ソフトウェアベンダーに対応を要請するといった性格のものではないと考えられています。それは、標準監査ファイルが単に税務当局のためだけに作られるべきものではないからであり、むしろ、納税者（主として企業）が自主的にビジネスの中で使っているものを税務調査にも利用したい、という性格のものだからです。そのためには、税務当局のみならず、納税者団体、税理士、会計ソフトウェアベンダー、外部監査人などの関係者が緊密な連携を取って、標準化を進めていくことが重要です。

おわりに—東京税理士会への期待

今後、仮に我が国で標準監査ファイルを導入するとした場合に、税理士及び東京税理士会の役割は大変重要なものになると思われます。中小企業の経理実務、税務実務、ITの状況を熟知する立場から、「標準化」に関わることが期待されます。例えば、XBRL GLであれば、XBRL JapanのXBRL GLの標準化活動に参加することなどが考えられます。中小企業の実態に配慮しながら、適正記帳、適正申告・納税を推進すると共に、標準監査ファイルを積極的に企業経営に活用し、中小企業の健全な発展に資することができるようにする際に、税理士はなくてはならない存在です。税理士の先生方、とりわけ情報システム委員会の先生方におかれましては、「標準監査ファイルの導入」を税務調査対応の観点からのみ捉えるのではなく、中小企業の健全な発展にどのように役立てることができるかという観点で、ぜひ、積極的に取り組んでいただければと思います。



XBRL Japan

第9回シンポジウム開催のご案内

—いよいよ EDINET へ! 広く活用される XBRL—

開催概要

主催 XBRL Japan、日本公認会計士協会
 後援 東京証券取引所
 日時 平成18年7月18日(火)10:00～17:30
 場所 公認会計士会館2階大ホール 千代田区九段南 4-4-1
 参加人数 400名(定員になり次第、受付終了)
 参加費 主催者会員 1,000円 その他の方 3,000円
 参加要領 下記URL(※)にアクセスのうえ参加申込書を出力し、必要事項をご記入の上、XBRL Japan 事務局へ FAX(03-5777-5520)してください。後日、受講票が届きますので当日はそれをご持参下さい。
 問合せ先 XBRL Japan 事務局 担当:竹内、河合 TEL 03-5777-3069 FAX 03-5777-5520

プログラム

午前の部 XBRL入門編
 9:30 開場 受付開始
 10:00～11:00 XBRLの概要 XBRL Japan 教育委員会
 11:00～12:00 XBRL関連ツールのご紹介 会員企業各社
午後の部 第1部「いよいよEDINETへ!広く活用されるXBRL」
 13:30～13:35 開会の辞 XBRL Japan 会長 金井 浄
 13:35～13:45 主催者挨拶 日本公認会計士協会会長 藤沼亜起
 13:45～13:55 来賓ご挨拶 日本税理士会連合会情報システム委員長 奥住 壽
 14:00～16:00 新 EDINET の概要と今後の動向
 国税電子申告納税システム
 銀行における電子申告データの活用、その他
午後の部 第2部 XBRL Japanの活動及びXBRL最新動向
 16:00～16:30 XBRL Japan 活動報告
 16:30～17:30 第13回 XBRL 国際会議報告
 17:30 閉会

※XBRL Japan ホームページ「関連ニュース」より
<http://www.xbrl-jp.org/pressroom/xbrlthenews.html>

■プログラム午前の部では、XBRLは初めてという方のために分かりやすい一般的な説明を、利用方法を確認したい方のためには税務・会計パッケージベンダーほかによるXBRL対応ソフトウェア及びサービスの紹介があります。

■午後の部の第1部では、新EDINETの概要と今後の動向、国税電子申告システム、新銀行東京の融資におけるXBRLの適用事例の紹介などが予定されています。

■第2部では XBRL Japanの活動報告のほか、本年5月にスペインで開催の第13回XBRL国際会議から注目の最新情報の紹介があります。日本税理士会連合会からも奥住情報システム委員長(東京税理士会副会長)の挨拶がありますので、多数の税理士の参加が呼びかけられています。

東京税理士会会員向け

IT研修会のご案内

東京税理士会情報システム委員会

1. IT研修・研修内容及び費用

① Word 入門 全6時間

【内容】パソコン操作の基本となる文字入力、変換、文書編集、保存、印刷の基礎を習得する。
 【受講の基準】日本語入力やマウスの操作も含めて、まったくパソコン操作経験のない方向けの研修(※1)
 【費用】13,650円(受講料・教材費・消費税込み)

② Excel 入門 全6時間

【内容】【表計算の基本となるデータ入力、表作成、四則計算、関数計算、グラフ作成、保存などの操作を習得する。
 【受講の基準】パソコンを利用して日本語入力やマウス操作はできるが、Excel など表計算機能は経験のない方向けの研修(※1)
 【費用】13,650円(受講料・教材費・消費税込み)

③ インターネット入門 全3時間

【内容】インターネットの利用方法、ホームページ検索、閲覧、電子メールの送受信方法を習得する。
 【受講の基準】パソコンを利用して日本語入力やマウス操作はできるが、電子メールとインターネットは経験のない方向けの研修(※1)
 【費用】10,500円(受講料・教材費・消費税込み)

④ セット講座(全4コース)

【内容】上記、① Word 入門、② Excel 入門、③ インターネット入門を組み合わせて受講し、パソコンの一般的な操作方法を習得する。
 【受講の基準】① Word 入門、② Excel 入門、③ インターネット入門と同様。
 【費用】A: ① Word 入門+② Excel 入門・・・25,200円
 B: ① Word 入門+③ インターネット入門・・・21,000円
 C: ② Excel 入門+③ インターネット入門・・・21,000円
 D: ① Word 入門+② Excel 入門+③ インターネット入門・・・35,700円
 (受講料・教材費・消費税込み)

※1・・・受講の基準は、目安に過ぎないので、自由にご希望の研修をお申込できます。
 この他にも、中野キャリアスクールによる「しっかりマスターコース」など、もっと勉強されたい方向けのコースもあります。ここで紹介している研修の受講を希望される方は、本会事務局総務課までTELまたはFAXでご連絡下さい。折り返し、申込み手順、研修教室地図等について詳細な内容を記載した「IT研修案内文書」をご希望のFAX宛に送付いたします。

◆◆会員向けIT研修の申込みについて◆◆

パソコン等の研修事業を実施している「中野キャリアスクール」の協力のもと、主にパソコン操作方法等に関して初心者を対象とした「会員向けIT研修」を開催しております。ここで紹介している研修の受講を希望される方は、本会事務局総務課までTEL又はFAXでご連絡下さい(書式は何でも結構です)。折り返し、申込み手順、申込み用紙、研修教室地図について詳細な内容を記載した「IT研修案内文書」をご希望のFAX宛に送付いたします。

東京税理士会事務局総務課 連絡先 TEL 03-3356-4461 FAX 03-3356-4469

2. 研修日程表及び研修場所について

① Word (6時間) コース

曜日	月・火曜日			水曜日	
時間	*1日3時間ずつ実施し、2日間(月、火)通うコースです。 17:00～20:00			*1日6時間実施するコースです。 10:00～17:00(1時間休憩)	
場所	新宿	京王八王子	新宿		
月	実施日	講座NO.	講座NO.	実施日	講座NO.
8月	21日・22日	9	39		
9月	4日・5日 11日・12日	10 11	40 41	6日	65

(ご注意) Word入門は、銀座校では実施いたしません。

② Excel (6時間) コース

曜日	水曜日	
時間	10:00～17:00(1時間休憩)	
場所	新宿	
月	実施日	講座NO.
8月	23日	105
9月	20日	106

(ご注意) Excel 入門は、新宿校のみでの実施となります。

③ インターネット (3時間) コース

曜日	水曜日		金曜日		
時間	*夕方から実施するコースです。 17:00～20:00		*午後から実施するコースです。*夕方から実施するコースです。 13:00～16:00 17:00～20:00		
場所	新宿	京王八王子	新宿	銀座	
月	実施日	講座NO.	講座NO.	実施日	講座NO.
8月	23日	—	215	25日	239
9月	6日	—	216	8日	240
	13日	205	—	15日	241
				25日	269
				8日	270
				15日	271

